

令和3年度進行管理・評価シート
津島市歴史的風致維持向上計画（令和2年3月24日認定）
（最終変更 令和3年2月12日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画との連携、景観計画との連携	2
2 立地適正化計画の策定	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的建造物保存・活用事業	4
2 道路改良・道路美装化事業	5~6
3 天王川公園整備事業	7
4 歴史文化遺産案内板整備事業	8
5 尾張津島天王祭保存・振興事業	9
6 尾張津島秋まつり保存・振興事業	10
7 歴史・文化学習事業	11
8 茶の湯文化振興事業	12
9 津島の歴史・文化魅力発信事業	13
10 毛織物産業の普及促進事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用	15
2 文化財の防犯・防災	16
3 文化財の普及・啓発	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 御朱印巡りは貸し切りタクシーで	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光客入込客数の動向	19
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市長公室シティプロモーション課、建設産業部都市計画課、教育委員会社会教育課の3課を事務局とし、各事業担当者と横断的に連携しながら庁内の実施体制を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
関係課で会議を2回開催し、国からの支援計画の推進についての情報共有や令和3年度の事業の実施状況、令和4年度に向けた事業の確認を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の影響により複数の事業が中止になったことや、来年度以降に新たな関連事業を実施する可能性があることがわかったため、事業の整理が必要になった。計画上の必要な手続について意識したうえで事業を実施し、変更等があれば早い段階から関係者間での情報共有に努める。		
状況を示す写真や資料等			
●都市再生整備計画事業に関する担当者会議 ・開催日 令和3年7月8日 ・開催場所 津島市役所 ・出席者 シティプロモーション課、財政課、都市計画課、都市整備課、産業振興課、社会教育課 ・内容 歴史的風致維持向上計画に基づいて実施してきた事業の一部に関して、令和4年度からは立地適正化計画策定に基づいて実施することについて、必要な手続や国からの支援の補助率等についての情報共有を行った。			
●津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議 ・開催日 令和4年2月17日 ・開催場所 津島市役所 ・出席者 シティプロモーション課、都市計画課、都市整備課、産業振興課、社会教育課 ・議題 ①令和3年度実施事業の進行管理・評価について ②令和4年度以降の事業や外部団体及び民間企業とのまちづくりに関する連携について			
●計画の実施体制			
<pre> graph TD subgraph National N1[国] N2[文部科学省] N3[農林水産省] N4[国土交通省] end subgraph Aichi A1[愛知県] A2[教育委員会] A3[海部建設事務所] end subgraph Tsushima T1[津島市] T2[事務局] T3[シティプロモーション課] T4[都市計画課] T5[社会教育課] T6[庁内関係課] T7[財政課、市民協働課] T8[都市整備課、産業振興課] end subgraph External E1["(仮称)津島市歴史的風致維持向上協議会"] E2[津島市文化財保護審議会] E3[津島市都市計画審議会] end subgraph Citizens C1[市民・市民団体、文化財・歴史的建造物所有者] end N1 <--> 協議 報告 T2 N1 <--> 連絡 調整 T2 A1 <--> 助言 支援 T2 T2 <--> 報告 意見 E1 T2 <--> 報告 意見 E2 T2 <--> 報告 意見 E3 T2 <--> 連携・支援 C1 </pre>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
都市計画との連携、景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

【都市計画との連携】
 良好な都市的空間の維持向上を目的として、用途地域の指定状況を踏まえ、適切な土地利用の規制誘導が図れるよう用途地域の見直しを行い、周辺環境との調和に努め、歴史的風致の維持向上を図っていく必要がある。

【景観計画との連携】
 景観計画の策定にあたっては、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画の景観形成重点地区を重ね、両計画を相乗効果的に関連づけることで、行為の届出を機会に、きめ細かな協議を行い、建築物等の景観誘導と歴史的風致に配慮した市街地整備を連携して推進し、歴史的風致の維持向上を図る必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年12月に都市計画の基本的な方針を示す津島市都市計画マスタープランを策定した。本計画では、重点区域周辺において、現状に即した用途地域の見直しの検討のほか、良好な町並みの維持・再生に向け景観計画等の策定や歴史的建造物を活用した個性豊かなまちづくりを行う方針とした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	過去に行った市民向け建物修景補助等の利用率が少なかったため、景観計画の策定を進めるにあたり、歴史的な景観保全の観点だけでなく、(都)天王通線や名鉄津島駅周辺のまちづくりも含め市民と対話や実践を行い計画策定を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

⑧都市景観の方針

本市に残る歴史的な町並みの保全を図ります。また、農地等が形成する自然景観の保全や植栽等による市街地の緑化を進め、緑あふれる快適で魅力ある都市づくりを推進します。津島駅周辺においては、本市の顔となる魅力ある市街地景観の創出を図ります。

【市全体の景観形成の方針】

- 本市においては歴史的な町並みや河川、農地等による良好な自然景観等の地域特性に応じた多様な景観が形成されており、これら景観の保全やさらなる魅力を向上します。
- 市民とともに景観計画を作成し、道路空間や沿道の建築物等の景観基準を定める景観条例を制定することにより、良好な都市景観を創出します。

【地域特性に応じた景観形成の方針】

<津島神社や本町筋等の歴史的景観>

- 文化財の保存、歴史的景観と調和する小路の整備や町並みと調和する建物となるよう建築物等の意匠、形態及び色彩等のルールの作成を検討する等、歴史のまちにふさわしい景観を維持・再生します。
- 津島神社や本町筋周辺は、多くの観光客が訪れる地区である一方、住民が比較的多く住んでいる地区であり、地域の理解と協力を得ながら、歴史的景観の保全や調和を図ります。
- 公共施設や公共により設置する案内板や道標等の施設については歴史的景観に配慮します。
- (都)天王通線沿道においては歴史のまちにふさわしい雰囲気を出し出すような道路空間の修景整備や無電柱化を検討します。



【津島市天王通り再生プランより】

<本市の顔となる津島駅周辺の市街地景観>

- 津島駅における駅前広場等の整備にあわせ、建物や看板等のデザインルールを検討する等、本市の顔となるにふさわしい統一感のある市街地景観を創出します。
- 駅前広場等に豊かな緑が感じられる植栽の検討を行います。

<河川や農地等の自然景観>

- 本市を流れる河川や市街化調整区域に広がる農地等により形成される本市ならではの自然景観を保全します。
- 市街化調整区域における農地の保全を図ります。
- 自然景観に配慮した河川の整備を図ります。

都市景観の方針(都市計画マスタープランより)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
立地適正化計画の策定		現在の状況 ■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容

人口減少の現実化に伴い、重点区域を含めた中心市街地の人口密度の低下により空き家・空き地の増加が予測されることから、立地適正化計画を策定し官民連携により都市のスポンジ化対策に有効な施策を行い、生活サービス機能の充実や歩行者の回遊性の向上を図り、まちの活性化と良好な景観を保全する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

立地適正化計画のうち、都市の機能を集積する都市機能誘導区域及び誘導施設、誘導施策について計画策定を行い、令和4年4月1日付けで計画の公表を行った。令和4年度からは、居住誘導区域及び防災指針の策定に着手する。

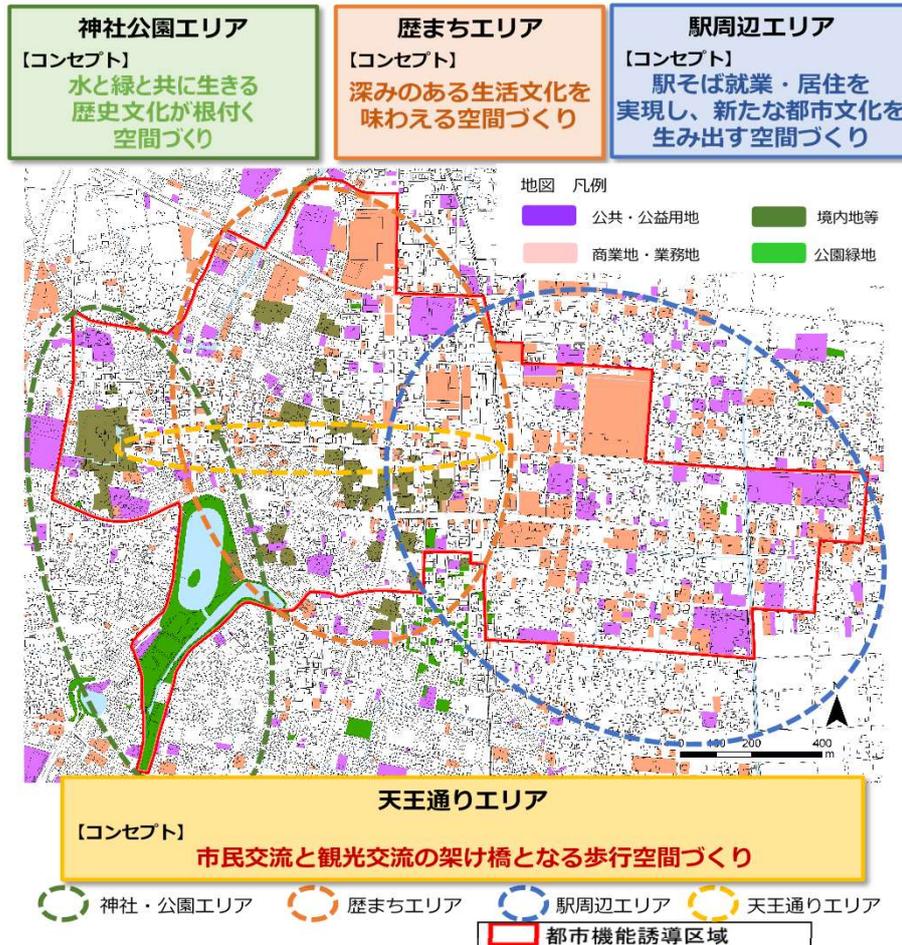
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

激甚化する自然災害に対応するため、都市計画法改正により災害リスクの高いエリアでの開発抑制や居住誘導のあり方が見直された。当市においては市域ほぼ全域が浸水ハザードエリアに該当することから、災害リスクに応じた居住エリアの検討や防災指針を策定し、被害低減に向けた取組を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の維持・管理のほか、歴史的建造物内で尾張津島天王祭や秋まつり等に関するものや季節ものの展示を実施し、歴史的建造物の保存・活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧堀田家住宅については、通常の保存管理に加え令和3年度は白蟻防除を実施した。氷室作太夫家住居については、今後の活用方針に活かすため、現況調査を行った。また、一般公開をしている旧堀田家住宅については、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら2月5日(土)～3月6日(日)に「ひなまつり展」及び「堀田家パネル展」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続的な保存管理や修繕が必要である。また、文化財保存活用計画の策定にあたり市民のニーズ等も調査しながら進めていくことが求められている。

状況を示す写真や資料等

↓旧堀田家住宅「ひなまつり展」



↓氷室作太夫家住居現況調査報告



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
道路改良・道路美装化事業①		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和2年度(2020)～令和6年度(2024)
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業、都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上させるため、景観と調和した道路や小路の美装化、道路の拡幅や歩道の整備等の来訪者に配慮した整備を行う。また、併せて無電柱化の検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●道路改良
令和4年度の用地取得に向けて土地評価調査や物件調査を実施した。(土地評価 N=1式、物件調査N=11件)

●道路美装化(小路整備)
令和3年度は、L=86.4mの小路整備事業を実施済。平成27年度から小路整備及び道路美装化を実施しており、総延長L=4308.6mに対し、令和3年度までの整備済延長はL=2580.2m(進捗率60%)。アスファルト舗装から輝緑岩を合材とする景観に配慮した排水性舗装に整備した。(L=86.4m)

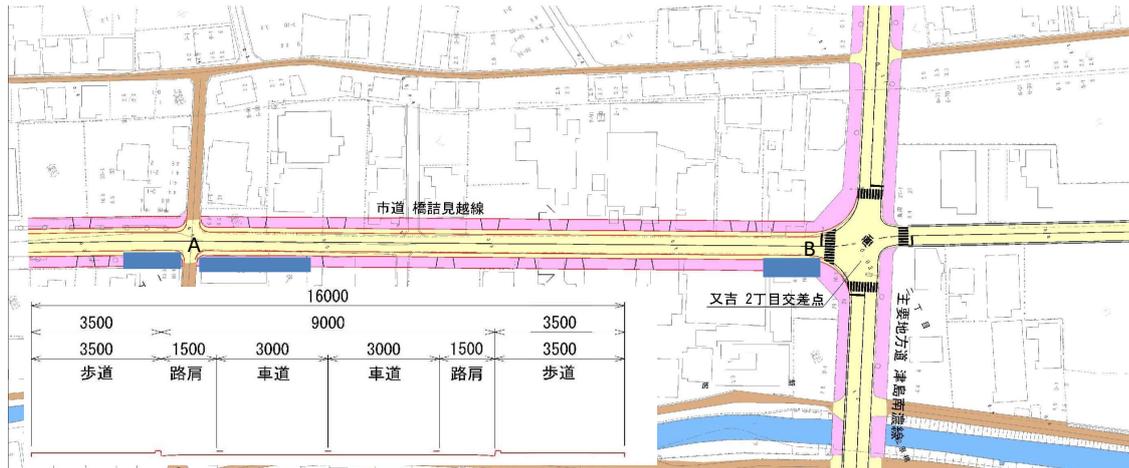
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

さらなる津島神社や天王川公園へのアクセス向上や、来訪者の回遊性の向上につなげるため、引き続き整備工事を実施し、整備延長を伸ばしていく。

状況を示す写真や資料等

↓道路改良事業箇所の平面図と標準断面図 ■ 事業箇所



↓現在(改良前)の道路改良事業箇所(AからBを見た写真)



↓工事後の道路美装化箇所(片町2丁目)



評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度																			
項目		現在の状況																				
道路改良・道路美化事業②		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																				
事業期間	令和2年度(2020)～令和6年度(2024)																					
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)																					
計画に記載している内容	津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上させるため、景観と調和した道路や小路の美化、道路の拡幅や歩道の整備等の来訪者に配慮した整備を行う。また、併せて無電柱化の検討を行う。																					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																						
上位計画(都市計画マスタープラン、立地適正化計画)に沿い、津島神社と津島駅を結ぶ天王通り周辺と、本町筋や天王川公園を含むエリアを対象とした駅周辺まちづくり基本構想を策定し、目標とする将来像に向けた重点的な取組について整理を行った。																						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後はまちづくり基本構想を基に、地域住民や関係機関との対話や実践を繰り返し行い、まちの将来像を共有しながら段階的にまちづくりを進めていく。																					
状況を示す写真や資料等																						
<h2>5. 重点的な取組み</h2> <p>(1) 戦略的な取組み(実施ステップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象エリアで育まれてきた文化の継承・活用を行いながら、各エリアの核を形成して「人に使われる公共空間」を創り、その取組みを広げるなかで、まちづくり骨格を形成していきます。 継続的なまちづくりを行うため、市が投資主体となり、今すぐ取り組めるものをはじめ、地域住民や関係機関と将来ビジョンを共有しながら、段階的なまちづくりを進展させます。 <p>■実施ステップの概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ステップ</th> <th>点</th> <th>線</th> <th>面</th> <th>役割分担の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステップ1</td> <td>既存のものを活用しながら各エリアの「核となる魅力」を強化します。</td> <td>「核となる魅力」をつなぐ天王通りに、まちあるき環境とゆとりある都市空間を創出します。</td> <td>関係主体の総動員で、核の魅力エリア全体に波及させ魅力ある沿道や風景を創出します。</td> <td>公共主導</td> </tr> <tr> <td>ステップ2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">民間主導</td> </tr> <tr> <td>ステップ3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>19</p>				ステップ	点	線	面	役割分担の概要	ステップ1	既存のものを活用しながら各エリアの「核となる魅力」を強化します。	「核となる魅力」をつなぐ天王通りに、まちあるき環境とゆとりある都市空間を創出します。	関係主体の総動員で、核の魅力エリア全体に波及させ魅力ある沿道や風景を創出します。	公共主導	ステップ2				民間主導	ステップ3			
ステップ	点	線	面	役割分担の概要																		
ステップ1	既存のものを活用しながら各エリアの「核となる魅力」を強化します。	「核となる魅力」をつなぐ天王通りに、まちあるき環境とゆとりある都市空間を創出します。	関係主体の総動員で、核の魅力エリア全体に波及させ魅力ある沿道や風景を創出します。	公共主導																		
ステップ2				民間主導																		
ステップ3																						
<p>○えがいた将来のまちの姿に沿って地元の方等の方がまちの空間をつかってみる</p> <p>○まちの空間を使ってみて感じた課題をまちの将来像に反映する</p> <p>○市が主体となり、市民と共にえがいた将来のまちの姿に沿って市や事業者がまちの空間をつくる</p> <p>○つくられたまちの空間を市が将来のまちの姿に組み込む</p> <p>○市民等がまちの空間をつかってみて感じた課題を踏まえて、市や事業者がまちの空間をつくる</p> <p>○市や事業者がつくったまちの空間を市民がつかう</p> <p>えがく つかう つくる 進め方のイメージ</p>																						

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
天王川公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)

支援事業名 防災・安全交付金(公園施設長寿命化支援事業)

計画に記載している内容 天王川公園内にある老朽化した藤棚の改修等を行う。

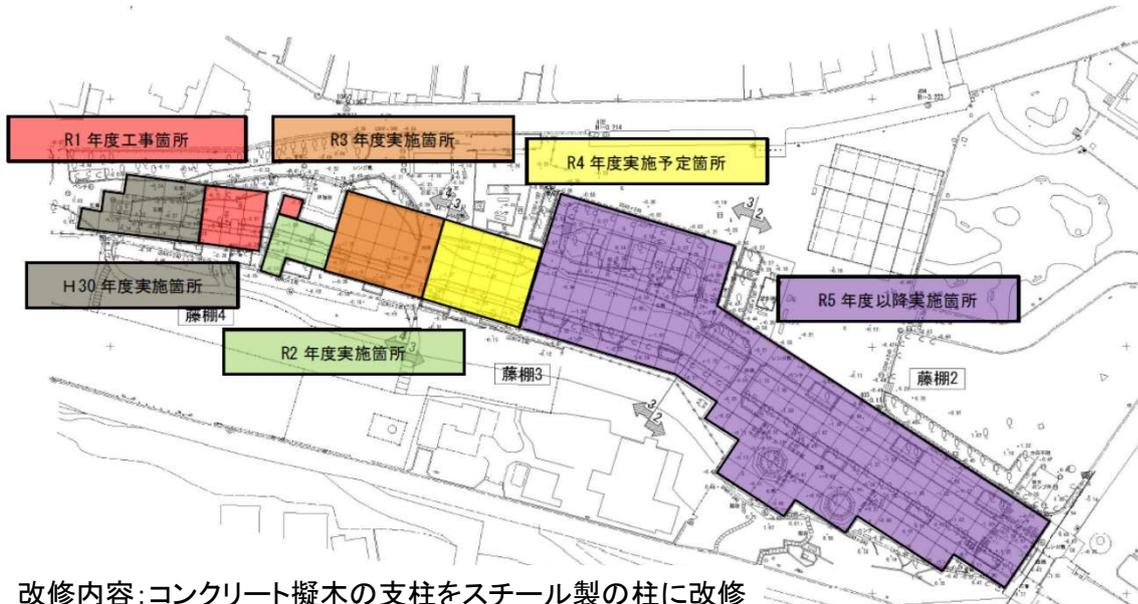
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、A=349.4㎡の藤棚改修を実施済。平成30年度から藤棚改修工事を実施しており、総面積A=3756.0㎡に対し、令和3年度までの改修済面積はA=915.3 ㎡(進捗率24.4%)。

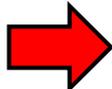
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	老朽化が進む藤棚の早期改修には、集中的な予算投資が必要なため、公園事業に特化した国の支援事業を検討し、進捗を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

↓藤棚改修状況



↓改修前の藤棚



↓改修後の藤棚



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
歴史文化遺産案内板整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和2年度(2020)～令和6年度(2024))、市単独事業

計画に記載している内容 老朽化等した歴史文化遺産の案内板を、必要に応じた方法で整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は老朽化した歴史文化遺産案内板の整備の必要性がなかったため、実施しなかった。

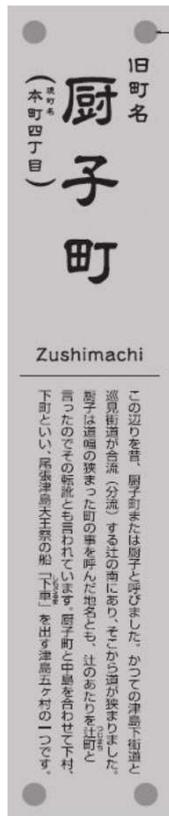
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29～30年度に整備した歴史文化遺産案内板については、災害や現状変更による修繕の必要性を随時注視し、適切に対処していく必要がある。また、神守地区の未整備の案内板については、令和5～6年度で既存の案内板をイメージした整備を行う予定である。

状況を示す写真や資料等

↓平成29～30年度に整備した歴史文化遺産案内板



案内サイン



町名



逸話紹介

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
尾張津島天王祭保存・振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 国宝・重要文化財等保存・活用事業(民俗文化財伝承・活用等事業【尾張津島天王祭の車楽舟行事】)、市単独事業

計画に記載している内容 尾張津島天王祭の祭礼に使用される用具等を学識経験者等による修理委員会での検討のもと修理・新調するほか、車楽舟行事や祭全体の運営・保存・継承のための補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の影響により尾張津島天王祭が中止となり、尾張津島天王祭に参加する車楽舟5車に対し、祭運営のための支援補助は実施していない。保存・継承事業については、お囃子の練習等を例年より縮小したものの、国庫補助事業の尾張津島天王祭の祭礼用具修繕については、令和3年度は、米車の屋台幕(後面幕・左面幕)と今車屋形について学識経験者等による修理委員会での検討のもと復元新調を行った。緊急事態宣言に伴う対応等、調整が必要な場面においてスケジュール管理を行い修理事業を完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染状況が落ち着くまでは開催できるか未定であるが、状況を見ながら関係団体等と開催に向けての調整を図っていく。また、今後の祭礼用具修繕については、具体的な計画を立て、進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



復元新調した米車屋台幕(後面幕/左、左面幕/右)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
尾張津島秋まつり保存・振興事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、市単独事業		
計画に記載している内容	学識経験者等による修理委員会での検討のもと、尾張津島秋まつりに使用される用具等を修理するほか、祭の運営や後継者育成のための補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
尾張津島秋まつりについては、令和3年度の実施が新型コロナウイルス感染症のため中止となった。それに伴い、尾張津島秋まつりに参加する山車、石採祭車、神楽に対し、報償費を支払うことができなかったものの、保存・継承事業についても例年よりお囃子の練習会等を縮小して実施、用具等の修理については予定どおり実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	尾張津島秋まつりは、新型コロナウイルス感染状況が落ち着くまでは開催できるか未定であるが、状況を見ながら関係団体等と開催に向けての調整を図っていく。また、保存・継承事業については、保存団体の予算の確保や担い手の確保に課題がある。団体へ新たな資金調達方法の検討を促し、地域の括りを越えた担い手の参画を検討するように促す。		
状況を示す写真や資料等			
↓修繕前の山車の水引幕の写真		↓修繕後の山車の水引幕の写真	
			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史・文化学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業、民間団体単独事業

計画に記載している内容 市では主に市内の小学校高学年の児童を対象に郷土の歴史や文化を学習するためのフィールドワークや祭の見学等を実施し、民間団体では大人から子供まで参加できるご当地検定を開催することで、市内外の住民に津島の歴史文化の学びの機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張津島天王祭の車楽舟行事の学習事業として、6月26日に座学と工作(花付け体験)を行い、7月25日にビデオ鑑賞、津島祭礼図屏風(複製品)の鑑賞、兎行列等の見学等を行った。当初、6月26日、7月25日、8月28日の3日間の体験学習プログラムを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月28日の神葎見学・津島神社宝物等見学が中止となった。(全体応募者31人)また、津島商工会議所が主催した津島のご当地検定(「信長の台所歴史検定 津島の達人」)は、会場では行わずWEBのみで開催した(期間:2月1日から2月28日まで 受験者:42名)。WEBで開催したことによりピーターだけでなく長崎県や埼玉県から受験した方もおり、遠方にも津島の歴史ファンがいることを知る機会になった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

「祭りを学ぶ」は、ご当地検定についてはコロナ禍に対応した方法で実施できることは行い、子どもたちの祭の学習の場を提供する。「津島の達人」は遠方の方にも受験してもらえたことでWEBで開催したメリットもあったが、津島で受験し、津島を散策してもらおうという流れが望ましいため、今後はハイブリッド方式の開催も検討する。ご当地検定サイトやご当地検定実施機関との相互リンクを行うなどして受験者の募集を工夫したが、発信先や発信方法が課題である。

状況を示す写真や資料等

↓津島祭礼図屏風(複製品)の鑑賞の様子



↓花付け体験の様子



↓ご当地検定のチラシ

第14回 信長の台所 歴史検定
津島の達人
 試験日 令和4年2月1日(火)～28日(月)

WEBで試験実施!! ご自宅で気軽に受験

◆『津島の達人』上級試験 試験時間:70分
 ※上級試験は3回合格すると市長表彰があります。

◆『津島の達人』試験 試験時間:70分
 『尾張津島祭礼図シニア版含む』『津島の祭礼』参照可
 (公式テキスト詳細は裏面をご覧ください。)

【再試験共通事項】
 出題内容:津島の歴史・文化・祭礼、その他関連するもの全般 全50問
 受験料:11,000円(税込)
 申込期間:令和4年1月4日(火)～2月14日(月)
 解答期間:令和4年2月1日(火)～2月28日(月)
 申込受付:公式HP(津島商工会議所内リンク)
 下記アドレスまたはQRコードにて受験申し込み
 受験方法:①公式HP申込ページよりログイン登録
 ②ログイン情報およびパスワードを設定
 ③受験料を入金後(申込または待機)、解答期間において専用HPよりログインして受験
 受験料納付:指定口座に振込または津島商工会議所に持参
 合格特典:合格証 及び つし丸バッチ(達人)、天下布武バッチ(上級)
 詳細お申し込みHP (<https://tsushima.jimdofree.com/>) をご覧ください。

*パソコン操作等に不安がある方は、商工会議所で受験するなど個別に
 対応させていただきますので、お気軽にお問い合わせください!!

今回は上級試験を受験された方全員に、原啓夫作詞
「いくさの子」タオルをプレゼント!!

様定に際するお問い合わせ 津島商工会議所 〒496-8558 津島市立町4-1-4
 TEL:0567-28-2800 FAX:0567-24-2805 津島の達人HP (<https://tsushima.jimdofree.com/>)
 ■主催:津島商工会議所 ■協賛:信長の台所歴史検定「津島の達人」実行委員会
 ■協賛:一般社団法人津島法人協議会 認定 NPO法人まちづくり津島
 ■協賛:津島市、津島市教育委員会、一般社団法人津島市観光協会、一般社団法人尾張津島青年会連合会
 クローバーTV、津島ロータリークラブ、愛知県市議会、津島市議会、津島市商工会、津島市観光協会、尾張市商工会、大府市商工会、岡崎村商工会
 認定NPO法人津島商工会議所事務局

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
茶の湯文化振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 毎年秋に津島市文化会館で行われる「津島市文化祭」の協賛事業等において、市民が茶道等を披露する場を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

例年は津島市文化祭の協賛行事として「茶華道展」(津島市文化祭協賛行事)を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「日本のお茶に親しむ集い」は室内で大人数での飲食があるため、コロナ禍での開催が難しいが、別の方法での実施を検討していく。

状況を示す写真や資料等

(令和元年度茶華道展の様子)

↓茶華道文化連盟の会員による呈茶



↓茶と茶菓子を楽しむ人々



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
津島の歴史・文化魅力発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ等による津島のまち歩きやパンフレットの作成、市ホームページにより市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

愛知県と連携し、韓国のインフルエンサー3名を招請したファムトリップを実施し、津島神社のPRを行い、各種媒体にて発信してもらった。
 名鉄西部交通タクシーに協力する形で、津島神社を始めとする地域資源であるお寺を巡る観光タクシーツアーの実証実験を行った。(観光庁補助事業)
 津島ガイドボランティアが3月26日(土)、27日(日)にまちあるきツアーとともに天王川公園で「野点大茶会」を開催し、26日はあいにく雨だったものの、2日間で約80名参加し、用意していた抹茶が茶会終了前に売り切れてしまうほど盛況だった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

新型コロナウイルスの感染拡大により、タクシーツアー等の参加人数が見込みよりも少なくなりましたが、今回のように新たな魅力発信方法について継続して市民団体や民間企業と協議していく。

状況を示す写真や資料等

↓韓国人インフルエンサーに津島神社や天王祭をPR



↓名鉄西部交通が実施した観光タクシーツアーのチラシ



↓「野点大茶会」の様子



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
毛織物産業の普及促進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 津島毛織工業組合単独事業

計画に記載している内容 愛知県や日本毛織物等工業組合などと連携しながら、市内の毛織物産業企業に対し、販路の開拓・拡大の支援や後継者育成のための研修、そのほか必要に応じた企業支援を行う。

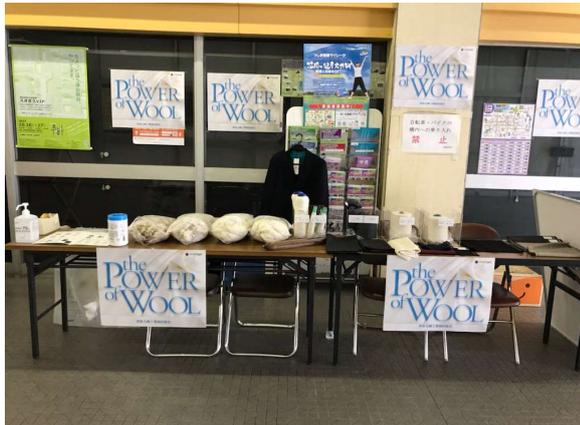
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

10月16日(土)、17日(日)に名鉄津島駅周辺で開催されたイベントにおいて、毛織製品のできる工程や、毛織物産業の歴史を紹介するブースを設置し、一般人向けにPRを行った。同イベントでは2日間で約5,000人が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナ禍でイベント等が制限され、一般の方にPRする機会が少ないものの、地元の企業・店舗の協力を得たり、連携しながらPRする場や体験する場を設けられるよう、調整していく。

状況を示す写真や資料等

↓津島の毛織物産業の歴史や毛織製品の工程を紹介するブース



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の保存・活用		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定等文化財の適正な保存・管理を図るとともに、市に所在する未指定文化財についても、調査等を通して文化財の価値を判断し、必要に応じて指定等といった保護措置を講じ、保存活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財については、所有者や管理者等による適切な管理ができるよう指導・助言・情報提供を実施した。それにより、修理や保管が適切に行われた。市指定有形文化財である氷室作太夫家住居については、現況調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財の日常管理は所有者に委ねられる部分が多く、指導・助言・情報提供を実施した所有者から次代へ継承された場合、文化財の価値や適切な管理を行うための知識までも継承されるとは限らないため、所有者の情報を把握し、適切に指導・助言・情報提供を行う。

状況を示す写真や資料等

- 指導 修理方法(12件)
- 助言 保管方法(1件)
- 情報提供
補助金情報(2件)
事業参加案内(1件)

↓氷室作太夫家住居現況調査報告



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
文化財の防犯・防災			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の所有者や管理者等に対する防災・防犯面での知識の向上や啓発活動、日ごろの確認や文化財防火デーにおける消防訓練等の実施に取り組む。また、自動火災報知機や消防設備の適切な維持管理を指導・助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧堀田家住宅・氷室作太夫家住居については、11月9日(火)及び2月3日(木)に消防訓練を実施した。文化財防火デーにおいては、例年は津島神社にてはしご車等を用い消防本部と連携して消防訓練を行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

継続的な消防訓練や消防設備の点検及び修理が必要である。

状況を示す写真や資料等

↓旧堀田家住宅の消防訓練



↓氷室作太夫家住居の消防訓練



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市内に所在する文化財について、市内外の方に広く知ってもらうため、市内文化財の情報発信ができるWebサイト(「デジタル博物案」等)の運営や、市立図書館等で行われる歴史講座などの文化財に関する各種講座、旧堀田家住宅における展示や公開を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた市立図書館の歴史講座は、一部実施となり、旧堀田家住宅では「津島のまちと天王祭展」、「ひなまつり展」を開催し、旧堀田家住宅に足を運んでもらう機会を設けた。また、ホームページ「津島市の歴史・文化遺産」の運営を行った。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市が管理するホームページ以外に、まつりやまち歩き等のイベントを通じて文化財の普及・啓発を行うことも有効であるため、関係部署間で連携しながら、文化財のPR方法について検討していく。		

状況を示す写真や資料等

↓旧堀田家住宅「ひなまつり展」



↓ホームページ「津島市の歴史・文化遺産」



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
御朱印巡りは貸し切りタクシーで	令和4年1月14日	中日新聞
津島五つの玄関「交流広げ発展を」	令和4年2月2日	中日新聞
大正薫る豪華な御殿飾り	令和4年2月10日	中日新聞
自然や歴史に触れ魅力実感	令和4年3月29日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新聞記者への積極的な情報提供により、市の事業だけでなく民間企業や市民団体の活動も報道してもらうことができた。新聞報道されることで、多くの人に周知・PRすることができ、集客につなげることができたと、市民活動団体の方の喜ぶ声があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	例年行っているイベントでも新たな工夫やテーマを設定したり、これまでにない取組を行うなど、新しい情報を提供していくことが重要であることがわかった。

状況を示す写真や資料等

↓令和4年1月14日 中日新聞



↓令和4年2月2日 中日新聞



↓令和4年2月10日 中日新聞



↓令和4年3月29日 中日新聞



この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

項目

観光客入込客数の動向

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、藤まつり、天王祭、秋まつりを含む例年のイベントが中止になったことで観光客入込客数は大きく減少した。

進捗状況 ※計画年次との対応

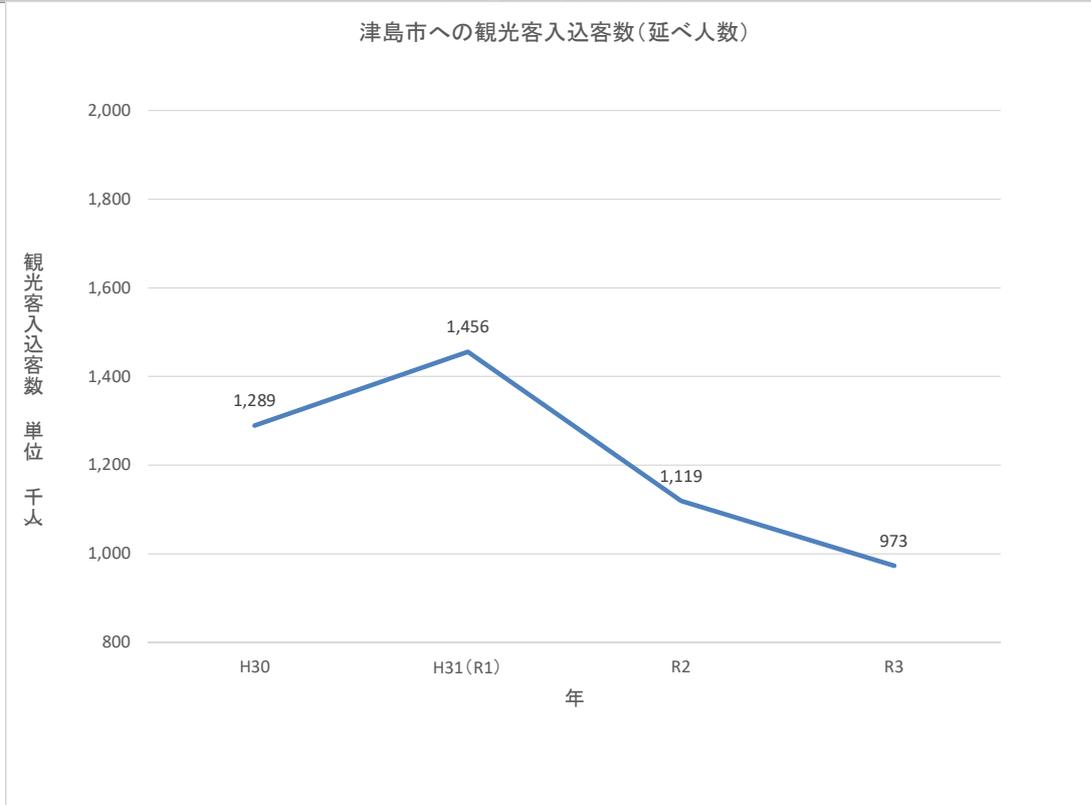
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

ウィズコロナの生活が定着しつつあり、コロナ禍でも感染対策を講じたうえで祭り等が開催される傾向にある。マイクロツーリズムなどのコロナ禍を意識した観光スタイルや新たな取組を通じ、近隣県市からの誘客を目指す。

状況を示す写真や資料等

津島市への観光客入込客数(延べ人数)



※藤まつり、天王祭、秋まつり、津島神社、尾張津島観光センター、津島市観光交流センターの入込客数の合計に、百の位を四捨五入した数字

評価対象年度	令和3年度
<p>・法定協議会等におけるコメント</p>	
<p>コメントが出された会議等の名称:津島市歴史的風致維持向上協議会</p>	
<p>会議等の開催日時:令和4年4月26日 14時～</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都市計画との連携、景観計画との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・本町筋の景観保全についても検討をお願いしたい。 ●立地適正化計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・これから多くの自治体が、防災指針の策定に着手していく。津島市歴史的風致維持向上計画における重点区域は、立地適正化計画の防災指針を策定するエリアと重なると思われるので、歴史的建造物が多い地域で防災指針がどうあるべきかの議論をぜひ進めていただきたい。 ●歴史的建造物保存・活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・氷室作太夫家住居について、単に現況を調査するだけではなく、いかに未来につなげて残していくのかという発想が必要であると思う。早急な保全をお願いしたい。 ・氷室作太夫家住居は、津島御師の歴史文化を継承する上で重要な建物である。 ・旧堀田家住宅において例年通りの展示事業を行っているだけで、この機会に歴史的風致維持向上計画の内容をしっかりと捉えて、文化財の活用について積極的に検討してほしい。 ●尾張津島天王祭保存・振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・尾張津島天王祭の車楽については、県指定文化財にも位置付けされており、車楽舟行事、祭自体に非常に価値があり、全国的にも評価されている。文化財としての価値が担保できるよう、修理委員会を立ち上げて今後も計画的に修理を実施してほしい。 ・祭を形だけ残していくのか、担い手を育成し受け継いでいくのか。形だけではなく、中身まで継承していくのが理想である。現状担い手を確保するのは難しく、20年、30年後に本来の祭の姿や意味を継承することは非常に難しいと考える。 ・尾張津島天王祭は、行政の祭ではない。関係団体と一度話し合い、20年、30年後を見据えて検討してほしい。津島市で一番大事な尾張津島天王祭がなくなってしまうのは大変困ってしまう。 ●茶の湯文化振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「茶華道展」は令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっているが、代替事業として、例えば津島市出身の陶芸家のお茶碗を展示するだけでも、茶の湯文化を知ってもらうきっかけとなる。 ●文化財の防犯・防災 <ul style="list-style-type: none"> ・民間所有も含めた防犯・防災体制を考えてほしい。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・天王川公園Park-PFIについて、民間の力を借りながら、歴史・文化を生かして、まちづくりの起爆材になることを期待している。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天王通りを基軸として、まちづくりとしてのエリアマネジメントを展開していく中で、令和5年度に景観計画策定に向けた調査を行う予定。また、現在天王通りの無電柱化計画を検討しているところで、令和8年度より始まる無電柱化計画に向けて、景観計画の策定や都市計画道路の見直しを進めていく。 ・歴史的建造物の保存・活用については、コメントを参考に具体的な取組が実施できるよう検討する。 ・氷室作太夫家住居については、令和3年度に現況調査を実施しているが、その結果だけでなくに保存活用計画に進むことは難しい。住居内に民俗資料なども残っており、そのあたりの調査を踏まえながら、今後計画を進めていく。 ・コロナ禍において、令和2年度と同様、祭や行事などが中止もしくは縮小開催となった。別の方法や代替事業での実施を検討していく。また、少子高齢化やコロナ禍で、祭の継承や担い手の育成は、大きな課題である。学識経験者や関係団体と協議しながら、今後の方針を検討していく。 	